

平成 28 年 10 月 6 日

保護者の皆様

平成 28 年度全国学力・学習状況調査の結果（御浜町）と今後の取組

御浜町教育委員会

平成 28 年 4 月 19 日（火）に実施しました「平成 28 年度全国学力・学習状況調査」における結果の概要は以下の通りです。

1 調査結果概要

（１） 調査の目的

- ① 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ③ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

（２） 調査実施日 平成 28 年 4 月 19 日（火）

（３） 調査対象（御浜町）

小学校第 6 学年の児童 67 人 中学校第 3 学年の生徒 93 人

（４） 実施内容

① 教科に関する調査

- ・ 小学校 6 年生：国語 A、国語 B、算数 A、算数 B
- ・ 中学校 3 年生：国語 A、国語 B、数学 A、数学 B

※A、B については、A：主に「知識」に関する問題 B：主に「活用」に関する問題

② 生活習慣や学習習慣等に関する質問紙調査

- ・ 児童生徒に対する調査
- ・ 学校に対する調査

2 教科に関する調査の結果

平成 28 年度の結果は、小学校ではすべての科目で全国平均を上回り、昨年度と比較すると、小学校国語 A が 5 ポイント以上の大幅な改善であった。他の科目についてもすべてに改善がみられた。中学校については、すべての科目で全国平均を下回る結果となったが、平成 25 年度調査（現中学 3 年生が当時 6 年生）時と比較すると、全ての科目で全国とのポイント差を縮めており、改善が図られています。

○小学校国語 A では、お年玉を貯金するが 100%の正答率であったように、「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むこと」の正答率は高かった。一方で、「漢字を正

しく書くこと」の正答率が低く、取組むべき課題が明確となった。また、「目的や意図に応じて書く事柄を整理する」や「用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決める」の正答率が高かった。国語 B については、「話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する」や「グラフを基に分かったことを的確に書く」の正答率が低かった。

○小学校算数 A では、「二つの数の大小関係を表す不等号を書く」問題で正答率が 100% であり、不等号をよく理解している。また、「図形」領域の正答率が高かった。算数 B では、説明する式の意味を、数や演算の表す内容に着目して書くや、目標のタイムを求める式の中の 0.4 や 0.3 が表す意味を書くといった、「式の意味の説明を記述する」や「示された式の中の数値の意味を解釈しそれを記述する」の正答率が低かった。

○中学校国語 A では「文脈に即して漢字を正しく書く」や「文の成分の照応について理解する」の正答率が低かった一方で、「登場人物の言動の意味を考え内容を理解する」や「相手や場に応じた言葉遣いなどに気を付けて話す」などは正答率が高かった。国語 B では、「書くこと」の領域の正答率が低く、「文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く」といった記述式の問題への取組が大きな課題として浮き彫りになった。しかし一方で、「文章の展開に即して内容を理解する」や「目的に応じて必要な情報を読み取る」といった問題の正答率は高かった。

○中学校数学 A、B では、「与えられた情報から必要な情報を適切に選択し処理する」は正答率が高かった。しかし一方で「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する」や「与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明する」といった記述式の問題の正答率が低かった。

各教科における平均正答率（小学校）

	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
御浜町	73.8%	59.6%	80.4%	48.3%
三重県	71.7%	58.1%	78.3%	47.1%
全国	72.9%	57.8%	77.6%	47.2%

各教科における平均正答率（中学校）

	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
御浜町	71.8%	57.6%	57.3%	36.4%
三重県	74.4%	64.3%	62.2%	43.2%
全国	75.6%	66.5%	62.2%	44.1%

3 生活習慣や学習習慣等についての調査結果（各質問紙調査より特徴的な結果を抜粋）

（1）小学校児童質問紙調査より （ ）内は昨年度

○回答の割合が昨年度を上回る項目（下線は10ポイント以上増加）

①地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか

・当てはまる、どちらかといえば、当てはまる…76.2% (64.5%)【全国 70.6%】

②「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

・当てはまる、どちらかといえば、当てはまる…47.7% (42.1%)【全国 65.4%】

③5年生までに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか

・当てはまる、どちらかといえば、当てはまる…91.0% (85.6%)【全国 87.6%】

④学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか

・そう思う、どちらかといえば、そう思う…59.8% (52.7%)【全国 54.8%】

⑤調査問題の解答時間は十分でしたか(算数B)

・時間が余った、ちょうどよかった…50.8% (40.8%)【全国 57.3%】

●全国平均との差が大きい項目

①自分には、よいところがあると思いますか

・当てはまる、どちらかといえば、当てはまる…56.7% (86.8%)【全国 76.3%】

②家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか

・している、どちらかといえば、している…43.3% (75.0%)【全国 62.2%】

③「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

・当てはまる、どちらかといえば、当てはまる…47.7% (42.1%)【全国 65.4%】

④400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか

・そう思う、どちらかといえば、そう思う…77.6% (73.7%)【全国 60.4%】

⑤算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか

・当てはまる、どちらかといえば、当てはまる…52.3% (73.6%)【全国 67.4%】

(2) 中学校生徒質問紙調査より () 内は昨年度

○回答の割合が昨年度を上回る項目（下線は10ポイント以上増加）

- ①テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか
(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)
・よく見る、時々見る…**85.1% (75.7%)**【全国 87.4%】
- ②1、2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか
・当てはまる、どちらかといえば、当てはまる…**86.2% (76.6%)**【全国 77.8%】
- ③1、2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか
・当てはまる、どちらかといえば、当てはまる…**55.3% (46.9%)**【全国 63.1%】
- ④1、2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか
・当てはまる、どちらかといえば、当てはまる…**61.7% (46.8%)**【全国 76.8%】
- ⑤数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか
・当てはまる、どちらかといえば、当てはまる…**41.5% (29.8%)**【全国 41.9%】
- ⑥調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)
・時間が余った、ちょうどよかった…**85.2% (75.6%)**【全国 84.6%】

●全国平均との差が大きい項目

- ①家で、学校の宿題をしていますか
・している、どちらかといえば、している…**64.9% (93.6%)**【全国 90.1%】
- ②家で、学校の授業の復習をしていますか
・している、どちらかといえば、している…**28.7% (54.2%)**【全国 51.0%】
- ③「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
・当てはまる、どちらかといえば、当てはまる…**37.3% (43.6%)**【全国 57.7%】
- ④数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか
・当てはまる、どちらかといえば、当てはまる…**45.8% (52.1%)**【全国 81.1%】

4 考察

授業改善について ()内は昨年度

「授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか。」という項目では、小中学生ともに『尋ねる』と答えた児童生徒の割合が、昨年度より改善され全国平均を上回っています。また、「前年度までに受けた授業では、児童生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか」という項目でも、『当てはまる、どちらかといえば当てはまる』と答えた割合は、小中学生ともに全国平均を上回っており、学校質問紙でも「学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか」にすべての学校が肯定的に回答している。このことから、町が目指すペアやグループを取り入れた学習が浸透していることが分かります。

中学生では、県が授業改善として進めている「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。」では、『当てはまる、どちらかといえば当てはまる』と答えた生徒の割合が 55.3% (46.9%) に、「ノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか。」は 61.7% (46.8%) と回答しており、一定の改善傾向にあると考えられます。しかし、未だ全国平均を下回っているので、引き続き一層の改善に取り組む必要があります。

「今回の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか」では、『努力した』と答えた児童生徒の割合が、ともに昨年度を大きく下回っています。このことから、普段からあきらめずに粘り強く課題解決にあたる取組も必要であると考えます。

情報通信機器の使用について ()内は昨年度 【 】内は全国

平日、「1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）」について、『1時間以上』と答えた小学生が、35.9% (14.4%) 【18.5%】、中学生が 56.4% (48.9%) 【47.8%】と増加し、全国平均を上回っています。また、携帯電話の所持率も小学生 77.6% (51.3%) 【61.1%】、中学生 86.2% (73.4%) 【81.2%】と全国平均を上回っています。特に小学生の使用時間、所持率の増加が大きく、学習や睡眠時間への生活影響など、携帯電話やスマートフォンの使い方も含め、今後の大きな課題として取り組む必要があります。

学校質問紙でも「コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業を行いましたか」「コンピュータ等の情報通信技術を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を学ぶ校内研修を行っていますか」「生徒の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を行いましたか」を肯定的に回答

した学校が少なかったことから、情報通信技術の活用およびユニバーサルデザインを取り入れた授業をすすめるとともに、情報モラル教育も含めた取組をすすめていくことが必要です。

家庭学習について ()内は昨年度

家庭学習については、「平日、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。」という項目で、『1時間以上』と答えた小学生が47.8% (51.3%)、中学生が36.2% (43.7%)、「土日」では、小学生が32.9% (52.5%)、中学生が40.5% (41.5%)となり、いずれも昨年度を下回っています。全国平均との差は大きく、小学生が平日で-14.7ポイント、土日で-24.1ポイント、中学生が平日で-31.7ポイント、土日で-26.3ポイントであることを考えると、小学生も中学生も学習に対する量的課題の克服に向けて取り組みを進める必要があります。

5 今後の取組・改善方策

【御浜町教育委員会】

- (1) 調査結果等を活用し、指導方法の検証・改善を図るための担当者会を開催します。
- (2) 各学校での校内研修等へ指導主事等を派遣し、指導方法の改善を進めます。また、情報通信機器を導入し、授業改善に活用します。
- (3) 各学校の先進校視察や、大学教授等の外部講師を招聘した授業研究を行い、教員の授業力向上を支援します。
- (4) 全国学力・学習状況調査の結果から課題を克服するためのプリントを授業や家庭学習で活用できるように支援します。
- (5) 三重県教育委員会が実施する「みえスタディ・チェック」に全校で取組み、授業改善に活かします。
- (6) 「家庭読書の日」(毎月第3日曜日)を周知するとともに、学校・家庭と連携した読書活動を推進していきます。
- (7) スマートフォン等の機器の適切な使い方を含むネットモラル等の研修会の開催を計画しています。

【各小中学校】

各校独自に調査結果を分析し、課題や成果を明らかにし、全教職員がその課題を共有し、改善に向けた具体的な取組を行っていきます。それぞれの結果については、後日、各校より保護者の皆様に報告がございました。

御浜町教育委員会
学校教育係
担当 矢田哲也